

授業改善の工夫	実社会や日常生活との関わりを見いだせる課題設定の工夫
---------	----------------------------

小学校 学級活動（3） 第4学年		実施時期
題 材	「学級目標達成のために、どんな行動を目指したらよいだろう」	6月
	「学級目標について振り返り、達成に向けてもっとできるようになろう」	7月
	「学級目標について振り返り、達成に向けてもっとできるようになろう2」 【事例有】	10月
	「学級目標について振り返り、達成に向けてもっとできるようになろう3」	11月

本時のねらい

学級目標について振り返り、今学級ができていることを共有するとともに、もっとできるとよいと感じる行動について理解し、その後の学校生活で実践できるようにする。

児童に示す本時のねらい

「自主的に行動する」について、「できていること」や「もっとできるとよいこと」は何だろう。

提示資料（※次ページ参照）

<p>資料1 学級目標についてのアンケート結果</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【自分ですること】</th> <th>【友達や学級のためにできること】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>進んで発表する</td><td>5</td><td>授業で分らないところは教えてあげる</td><td>4</td></tr> <tr><td>べんきょうに集中する</td><td>12</td><td>友達が発表したらはく手する</td><td>7</td></tr> <tr><td>しゃべるとき身ぶり手ぶりをする</td><td>4</td><td>友達が落とした物をひろってあげる</td><td>16</td></tr> <tr><td>次の時間のじゅんぴをする</td><td>20</td><td>楽しくいろいろする。(友達となかよく遊ぶ。)</td><td>18</td></tr> <tr><td>給食の時しずかに食べる</td><td>19</td><td>友達がころんだら声をかける</td><td>15</td></tr> <tr><td>むごんでそうじをする</td><td>7</td><td>友達がけんかをしたら止めてあげる</td><td>5</td></tr> <tr><td>あいさつを自分からする</td><td>13</td><td>進んで給食をくばる</td><td>15</td></tr> <tr><td>早くじゅんぴをする</td><td>11</td><td>友達が悪いことをしていたら注意する</td><td>11</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>そうじの時に進んでバケツに水をくむ</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>こまっている人がいたら手伝う</td><td>12</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>ふわふわ言葉をつかう</td><td>13</td></tr> </tbody> </table> <p>資料2 「できていること」のアンケート結果</p>	【自分ですること】	【友達や学級のためにできること】	進んで発表する	5	授業で分らないところは教えてあげる	4	べんきょうに集中する	12	友達が発表したらはく手する	7	しゃべるとき身ぶり手ぶりをする	4	友達が落とした物をひろってあげる	16	次の時間のじゅんぴをする	20	楽しくいろいろする。(友達となかよく遊ぶ。)	18	給食の時しずかに食べる	19	友達がころんだら声をかける	15	むごんでそうじをする	7	友達がけんかをしたら止めてあげる	5	あいさつを自分からする	13	進んで給食をくばる	15	早くじゅんぴをする	11	友達が悪いことをしていたら注意する	11			そうじの時に進んでバケツに水をくむ	3			こまっている人がいたら手伝う	12			ふわふわ言葉をつかう	13
【自分ですること】	【友達や学級のためにできること】																																														
進んで発表する	5	授業で分らないところは教えてあげる	4																																												
べんきょうに集中する	12	友達が発表したらはく手する	7																																												
しゃべるとき身ぶり手ぶりをする	4	友達が落とした物をひろってあげる	16																																												
次の時間のじゅんぴをする	20	楽しくいろいろする。(友達となかよく遊ぶ。)	18																																												
給食の時しずかに食べる	19	友達がころんだら声をかける	15																																												
むごんでそうじをする	7	友達がけんかをしたら止めてあげる	5																																												
あいさつを自分からする	13	進んで給食をくばる	15																																												
早くじゅんぴをする	11	友達が悪いことをしていたら注意する	11																																												
		そうじの時に進んでバケツに水をくむ	3																																												
		こまっている人がいたら手伝う	12																																												
		ふわふわ言葉をつかう	13																																												
<p>【もっとできるとよいと思うこと(学級が)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ふわふわ言葉をつかう 8 友達が悪いことをしていたら注意する 7 べんきょうに集中する 7 むごんでそうじをする 6 こまっている人がいたら手伝う 4 あいさつを自分からする 4 楽しくいろいろする(友達となかよく遊ぶ。) 3 友達がけんかをしたら止めてあげる 3 早くじゅんぴをする 2 進んで給食をくばる 2 次の時間のじゅんぴをする 1 友達が発表したらはく手する 1 <p>資料3 「もっとできるとよいこと」のアンケート結果</p>	<p>資料4 トレーニングに用いた2つの場面</p>																																														

学習過程

段階	学習内容・児童の活動	時間	○指導上の留意点等 ★評価
導入	<p>1 アンケートの結果を基に、めあてをつかむ。</p> <p>(1) フィードバックで取り組んできた「話を最後まで聞く」についての自分たちの変容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話を最後まで聞く」の得点が上がっている。 ・7月よりできていると感じている人が多い。 <p>(2) 自分たちの課題に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「手あらい・うがい」は伸びているな。 ・「自主的に行動する」が高くなるといいな。 <p>(3) 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「自主的に行動する」について、「できていること」や「もっとできるとよいこと」は何だろう。</p> </div>	5	<p>○ 9月に取り組んできた「話を最後まで聞く」に関するアンケート(資料1)の伸びを提示し、頑張ってきたことを称賛するとともに「できていること」として実感させる。</p> <p>○ 他の2つの学級目標に関するアンケートの結果から、次に自分たちができるとよいことについて気付かせる。</p> <p>○ 「自主的に行動する」の行動目標のすべてができていないのかを問い、できていることもあるはずだという思いをもたせ、めあてにつなげる。</p>
展開	<p>2 「自主的に行動する」の行動目標から、「できていること」や「もっとできるとよいこと」について考える。</p> <p>(1) アンケートの結果から、学級としてできている行動目標を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「無言で給食を食べる」はできているな。 ・「進んであいさつをする」もできているな。 <p>(2) アンケートの結果から、もっとできるとよい行動目標を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふわふわ言葉をつかう」が一番多いな。 ・「友達が悪いことをしていたら注意する」も2番目に多いな。 <p>3 「もっとできるとよい」と考えた友達への言葉かけに関するトレーニングを行う。</p> <p>(1) 場面に応じた言葉かけや態度を練習する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※「友達が困っている場面」「友達が失敗してしまった場面」を想定して行う。</p> <p>①インストラクション(1分) どんな場面かを理解する。</p> <p>②モデリング(2分) 悪い例を見て、された側の感想を共有する。</p> <p>③リハーサル(2分) よい言葉かけを考え、ペアで役割演技を行う。</p> </div> <p>(2) 練習を振り返り、感じたことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしくしてもらえると嬉しい。 ・〇〇さんのように自分も声をかけたい。 	35	<p>○ 各行動目標と、アンケートで「できている」と答えた人数(資料2)を掲示し、自分たちの「できていること」を共有させる。</p> <p style="text-align: right;">【ポイント】</p> <p>○ 児童の意見を取り入れながら、行動目標に花丸や二重丸を付け、学級の「できていること」を可視化する。</p> <p>○ 児童が「もっとできるとよい」と答えたアンケートの結果(資料3)を人数とともに提示していく。その際、「ふわふわ言葉」や「注意する」といった友達への言葉かけに関わる行動目標が多いことに気付かせ、3の活動につなげる。</p> <p style="text-align: right;">【ポイント】</p> <p>○ ①では、2つの場面(資料4)を具体的に示し、児童に場面をイメージしやすくさせる。</p> <p>○ ②では、教師が悪いモデルを見せ、児童にされた側の嫌な思いを想像させる。</p> <p>○ ③では、児童の様子を観察し、よい言葉かけをしていたペアを称賛したり、取り上げたりして、そのよさを共有させる。</p> <p>★ 場面に応じた言葉かけを考え、練習することができている。【知識・技能】(練習の観察)</p> <p>○ ワークシートに感想を記述させることで、児童の思いを見取り、意図的指名に生かす。</p>
まとめ	<p>3 今後の目標を決め、本時の活動を振り返る。</p> <p>(1) 今後自分がどんな場面でどのように友達に言葉かけをしていくのかを考える。</p> <p>(2) 本時の活動を振り返る。</p>	5	<p>○ 一人一人に自分の目標を決めさせることで、これからの学校生活で実践しようとする意識を高める。</p> <p>○ ワークシートを用いることで、本時のねらいに沿った視点で振り返らせる。</p> <p>★ 今後自分が頑張りたいことを意思決定している。【思考・判断・表現】(ワークシート)</p>